

記者資料提供（令和 6 年 9 月 19 日）

阪神国際港湾株式会社

事業開発部 下田 加計 TEL：078-855-2240

阪神港における CONPAS の運用開始について（神戸港 PC18 コンテナターミナル）

阪神国際港湾株式会社では、近畿地方整備局と連携し、阪神港における CONPAS の導入を進めており、令和 6 年 3 月 29 日より大阪港夢洲コンテナターミナルにおいて CONPAS を運用開始しております。

この度、令和 6 年 9 月 27 日より神戸港では初となる CONPAS の運用を PC-18 コンテナターミナルにおいて開始します。現地での運用開始に先立ち、令和 6 年 9 月 24 日から CONPAS 操作画面での実入りコンテナ搬出入の予約取得が可能となります。

また、運用開始にあたり、操作説明会を開催いたします。ご興味・ご関心がある事業者の方は是非ご参加ください。

なお、専用携帯端末を活用した阪神港における CONPAS は、「搬出入予約機能」、「搬出可否情報の表示機能」、「搬入情報の事前確認機能」、「PS カード活用機能」及び「予約情報・車両接近情報の送信機能」等の機能を実装しており、ゲート処理の効率化等に寄与します。

※CONPAS(Container Fast Pass の略称)は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステム

※神戸港 PC-18 は、神戸港 PC-18 上組コンテナターミナル

<概要>

対象コンテナターミナル：神戸港 PC-18 コンテナターミナル

運用ルールの概要：詳細については[別紙](#)をご確認ください。

搬出入の予約取得の開始日：令和 6 年 9 月 24 日（火）

CONPAS 車両の来場開始日：令和 6 年 9 月 27 日（金）

<阪神港における CONPAS 操作説明会>

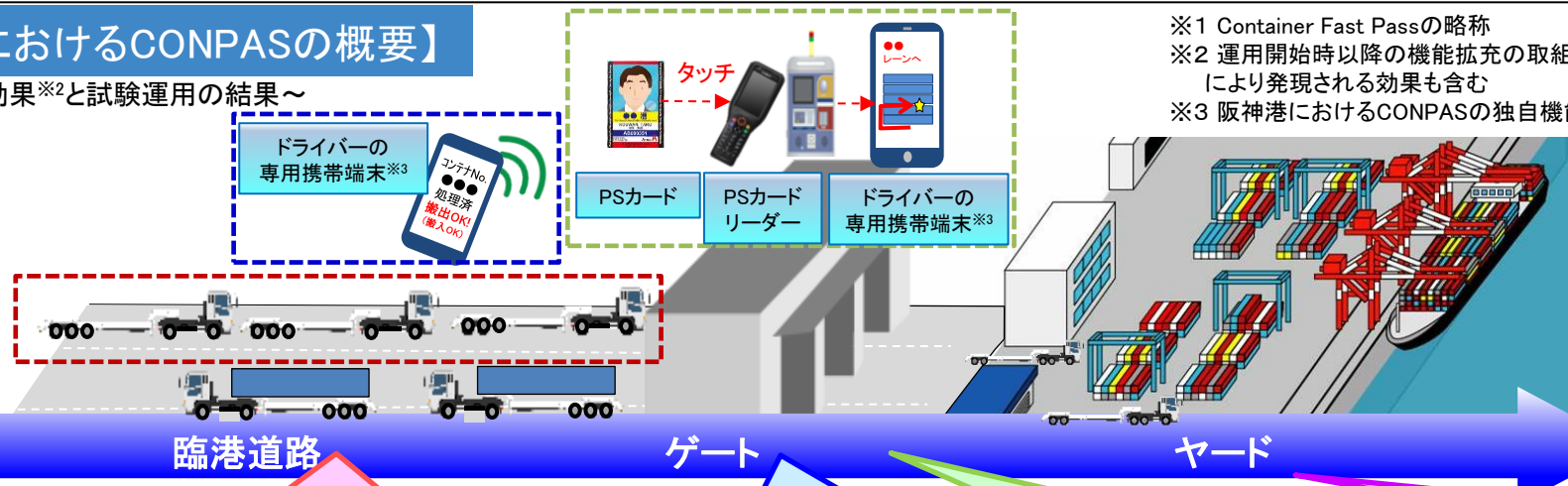
詳細については[別添](#)をご確認ください。

阪神港におけるCONPASの概要

- CONPAS※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発したシステム。
- 阪神港では、利便性の向上を目指し、阪神港の独自機能としてCONPAS専用携帯端末等を導入。
- 阪神港におけるCONPAS導入ターミナルについて、大阪港夢洲コンテナターミナルは令和6年3月29日、神戸港PC-18は令和6年9月27日から運用を開始。その他のターミナルについては今後、導入に向けた検討を進める。

【阪神港におけるCONPASの概要】

～期待される効果※2と試験運用の結果～



- ※1 Container Fast Passの略称
- ※2 運用開始時以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む
- ※3 阪神港におけるCONPASの独自機能

①搬出入予約
 予約制度の導入により、トレーラー到着時間を平準化

②搬出入情報の事前確認
 事前の搬出情報の確認、搬入情報の照合により、ゲートでのトラブルを回避

③PSカード・携帯端末の活用
 PSカードタッチ処理・携帯端末による行先表示※3により、ゲート処理時間を短縮

④予約情報・車両接近情報の活用
 CONPASを通じた車両情報等の活用により、ヤード処理を効率化

【試験運用結果】

- ・**予約制度・CONPAS専用レーン**の設定等により、ほぼ**全てのCONPAS車**が**予約時間どおり**に**コンテナターミナルゲート到着**
- ・大阪港DICT(実入搬出)の**ゲート前待機時間**について、CONPAS車は通常車と比較して、平均**約30分減**を確認
※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7~8)

【試験運用結果】

- ・**ゲート処理時間**(実入搬出)が、平均**約1分減**
※大阪港DICT第2回試験運用(R4.8~9)
 ※神戸港PC18第2回試験運用(R3.8~9)
- ・CONPAS車では搬入票エラー等によるゲート待機無し
※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7~8)

【試験運用結果】

- ・ターミナルオペレーションシステムへ、CONPAS予約情報等のデータ送信機能を構築

【更なる将来展開】

- ・CONPAS利用の拡大を図りつつ、トレーラー到着時間の平準化を目指す

【更なる将来展開】

- ・より効率的なゲート処理に向けて、CONPASの機能拡充を図る

【更なる将来展開】

- ・ターミナル事業者等と連携し、CONPAS予約情報の活用によるヤード処理の効率化を目指す